

安心して暮らせる街のために

これが私たちの仕事



全国には約5,000人の女性消防士がおり、消防隊、救急隊、救助隊、119番通報を受信する指令業務、火災を未然に防ぐ予防業務など様々な業務で活躍されています。

備北消防では、現在2名の女性が救急隊などで活躍しています。女性消防士が増えることで、消防業務の幅が広がることも期待されています。

女性消防士Q & A

Q 女性という理由で、採用試験で不利になりますか。

A 採用試験は、男女関係なく公平に行います。（※体力測定の基準得点表は、男女別。）

Q 体力に自信がなくても大丈夫ですか。

A 採用後、初任教育として広島県消防学校（全寮制）に入校し、基礎教育を受けます。そこで、消防士として基礎的な知識・技術・体力を身に付けます。

Q 勤務時間はどのようになりますか。

A 交替勤務と毎日勤務があります。

交替勤務は24時間勤務（8時30分から翌日の8時30分まで。24時間の勤務の中には、仮眠時間、休憩時間等が約8時間程度含まれます。）で、勤務明けとなる翌日は非番日となるため、実質1日おきの勤務体系になります。また、週に1度は、週休日（日勤者の土日にあたる休日）があります。又、毎日勤務は8時30分から17時15分までで、週5日の勤務となり、暦通りの勤務となります。

Q どこで仮眠するのですか。

A 女性専用の個室（シャワー室、洗面所、トイレ付）です。

現在、三次と庄原の消防署にあります。

Q 髪や化粧について決まりはありますか。

A 業務に支障がない範囲であれば問題ありません。

Q 備北消防は女性でも安心して働けますか。

A はい！給与などの勤務条件も男性職員と同様です。また、育児休業などの出産・子育て支援制度もあります。

備北消防で活躍する女性消防士



にインタビューする



Q 1 志望動機

Q 2 消防士になって良かったこと

Q 3 今後の目標

Q 1 消防士は幼なじみの小さい頃からの夢で、その幼なじみから消防士の話をよく聞いていました。私自身は、幼い時期から志していたわけではなく、進路を考える時期に、祖母が住む街を管轄する備北消防の採用試験があり、高校で学んだ看護の知識を活かせると思い受験を志したのがきっかけです。

Q 2 勉強したことが力になることです。学生時代、何の役に立つのかわからないまま勉強するのは苦でした。今は、身に付けた知識や技術を、火災を未然に防ぐ、怪我や病気で苦しんでいる人を助ける、災害に巻き込まれた人を救助するなど、仕事に活かすことができるようになったことです。

Q 3 一日でも長く仕事を続けたいです。念願の救急救命士となり、隊の一員として、仕事ができるようになりました。この、職責を果たし続けられる知識と体力を維持していくことが今後の目標です。



- Q1 志望動機
- Q2 仕事内容
- Q3 家庭と仕事の両立



Q1 小学生の時に、同級生が通り魔に襲われて死亡する事件があり、人のためになる仕事につきたいと思うようになりました。その後、進路に悩んだ際に救急救命士という仕事を知り、助けを求める人の元に駆けつけるというこの仕事に強い魅力を感じ、救急救命士を志したことがきっかけです。

Q2 採用時、女性が夜勤のできる施設(仮眠室・トイレ・シャワー室)が無かったため、予防係として毎日勤務をしていました。施設が改築されたのち、交代勤務(24時間勤務)となり救急隊として救急業務及び庶務業務に携わるようになりました。消防隊を兼務することもあるので、火災があれば出勤もします。現在は、子どもを出産し育休取得後、交代勤務に復帰しています。

Q3 現在2児の子育てを行いながら勤務にあたっています。子どもはすぐ体調を崩すなど、想定外の休暇が必要となることがあります。備北消防では子育てに関する休暇制度・支援制度が充実しており、職員の皆さんに理解していただきながら安心して勤務することができています。

私が利用した具体的な休暇・支援制度(一例)

産前産後休暇…出産前後に取得

育児休業…第2子が1歳半まで取得(3歳まで利用可能)

部分休業…仕事復帰後フルタイムではなく短時間の勤務(小学校就学期まで利用可能)